

2月4日(金)レベルⅠ研修 看護観の発表を行いました



研修生の学び

- ・その人らしさを支えるためには、患者理解が大切だと思いながらもコミュニケーションの難しさも感じているので他の研修生の方法を取り入れたい。
- ・看護師の力だけでなく、それぞれの専門である他職種と協力することで、よりよい看護につながると感じた
- ・患者さんの病状だけでなくこれまでの生活に関心を持つことが大切だと学んだ



「その人らしさを支える看護とは」何かを考え発表を行い、「その人らしさ」を理解することの重要性を再認識しました。今後は、患者の疾患を理解し、状態を正しくアセスメントすることで、知れた「その人らしさ」を支援できる看護につなげていくことが課題であると気づきました。また、医療チームで患者を支援するために看護師が重要な役割を持つと学びました。病棟でも、患者さんの思いに寄り添うために必要な4側面からのアセスメントを行うよう、ご指導をお願いします。

1年間、研修お疲れ様でした。患者さんの思いに常に寄り添うということは、思いの理解だけではないと学ぶことができたと思います。看護師として知識を積み上げ、患者さんの状態を正しくアセスメントし、より患者さんの状態・思いに沿った看護を提供できるよう、これからも一緒に考えていきましょう。

研修担当：綱本 常塚